

第1号様式

神奈川県知事 殿

年 月 日

高校生等奨学給付金受給申請書

高校生等奨学給付金の受給を申請します。 ※神奈川県は省略可

申請者 (保護者等)	住所			日中連絡が取れる電話番号	
	ふりがな		高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者(父) <input type="checkbox"/> 親権者(母) <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 生徒本人 <input type="checkbox"/> その他()	
	氏名				
申請者 以外の 保護者等	ふりがな		高校生等との関係	<input type="checkbox"/> 親権者(父) <input type="checkbox"/> 親権者(母) <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 未成年後見人である里親 <input type="checkbox"/> その他()	
	氏名				

- 生活保護受給世帯 (【1】、【3】～【5】を記入してください。(【2】は記入不要))
- 非課税世帯 (【1】～【5】を記入してください。)
- 家計急変世帯 (【1】～【5】を記入してください。)

【1】対象となる高校生等について

ふりがな				生年月日	昭和	年	月	日		
氏名				平成	年	月	日			
在学する 学校	学校の 名称	私立	学校コード※学校使用欄	麻布大学附属高等学校				年		
		課程	1 0 7 2	<input checked="" type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 専攻科						
在学期間	年 月 日～			年 月 日						
過去の 高等学校等に おける在学期間	学校名	立	年 月 日	課程	在学中に給付金を受給した回数					
			～		なし	1回	2回	3回	4回	不明
			年 月 日		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【2】扶養親族の状況について

※生活保護受給世帯は記入不要

※15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合には、記入してください。

(年(年)4月2日以降生まれの方は記入不要)

扶養親族の状況	【1】との続柄	氏名	生年月日	備考	職業・学校名・学年等	課程	給付金の申請の有無
	<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 高校生等	国公立 私立 高校 年	<input type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科
<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> 高校生等	国公立 私立 高校 年	<input type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> その他			
<input type="checkbox"/> 兄 <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 姉 <input type="checkbox"/> 妹				<input type="checkbox"/> その他			

【3】振込先口座

金融機関名	銀行・信用金庫 信用組合・農協	金融機関コード	本店・支店 本所・支所 出張所	支店コード
預金種目	普通・当座 貯蓄	口座番号	口座名義人 (申請者)	※カタカナで記入してください

月 日消印有効

【裏面に続きます⇒】

<県使用欄>

支給額(年額)	早期	未済額	個人口座振込額
<input type="checkbox"/> 生業扶助 52,600円	<input type="checkbox"/> 生業扶助 13,150円		<input type="checkbox"/> 生業扶助 52,600円(13,150円)(39,450円)
<input type="checkbox"/> 第一子 137,600円	<input type="checkbox"/> 第一子 34,400円		<input type="checkbox"/> 第一子 137,600円(34,400円)(103,200円)
<input type="checkbox"/> 第二子 152,000円	<input type="checkbox"/> 第二子 38,000円		<input type="checkbox"/> 第二子 152,000円(38,000円)(114,000円)
<input type="checkbox"/> 通信・専攻科 52,100円	<input type="checkbox"/> 通信・専攻科 13,025円		<input type="checkbox"/> 通信・専攻科 52,100円(13,025円)(39,075円)
<input type="checkbox"/> 不支給 0円			<input type="checkbox"/> その他(円)
			学校振込額
			円
			受付日時

【4】保護者等の収入の状況について

(1)生活保護受給世帯

①	<input type="checkbox"/>	生活保護受給証明書（生業扶助（高等学校等就学費）を受けていることがわかる証明書）を提出します。
②	<input type="checkbox"/>	対象となる高校生等の個人番号カード等の写しを提出します。

(2)非課税世帯(又は家計急変世帯)

- 次の者の
- 課税証明書等を提出します。
 - 高等学校等就学支援金申請のために登録(提出)した個人番号(個人番号カード等の写し)を用いることに同意します。(個人番号カード等を提出する必要はありません。)
 - 家計急変の状況の確認書類を提出します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 [単身赴任の場合であっても、親権者2名分提出してください。] 生徒が未成年(18歳未満)であり、親権者(両親)が2人存在する場合
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 (親権を児童相談所長、児童福祉施設の長が行う場合を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者は2名いるが、ドメスティックバイオレンスや養育放棄、失踪等の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 など
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人()名分 [親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(複数選任されている場合は全員分)]
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(以下「主たる生計維持者」という。)(両親等)2名 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで主たる生計維持者に変更がない場合 主たる生計維持者1名分 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 など
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合で、生徒本人が成人に達している場合 など

(3) 次の理由により、個人番号カード及び課税証明書等を提出しません。

①	<input type="checkbox"/>	所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割・市町村民税所得割が課されるだけの収入を得ていないため
---	--------------------------	--

【5】誓約・委任欄 ※申請者の氏名を記入してください。

<p>次のことを確認し、誓約(委任)します。</p> <p>(非課税世帯の方、生活保護受給世帯の方 共通)</p> <ul style="list-style-type: none">この申請書の記載内容は事実と相違ありません。また、この申請書に虚偽の記載があった場合は、知事の求めに従いその全額を即時返還します。私は神奈川県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高中生等を除く。))の支弁対象ではありません。授業料以外に学校へ納付する納付金等に未済があるときは、私が支給を受ける高校生等奨学給付金をその未済に充てることについて学校長に委任したので、奨学給付金を学校長に支払うことについて委任します。 <p>(非課税世帯の方のみ)</p> <ul style="list-style-type: none">私の世帯は、7月1日現在※、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助を受給していません。(対象となる高校生等が専攻科に在学する場合を除く) ※ 新入生対象一部早期(前倒し)給付は4月1日現在【扶養親族等の状況について】の欄に記入した高校生等及び兄弟姉妹を私が扶養しています。	<p>申請者氏名</p> <p>_____</p>
---	----------------------------------

【学校使用欄】

<p><学校受付印></p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p>

- 次のことについて確認しました。
- 令和5年4月1日現在、本校の 全日制 定時制 通信制 専攻科 課程に在学します。
 - 令和5年年7月1日現在、
 - 就学支援金 学び直し支援金 の受給権(補助要件を満たす)あり 専攻科支援金
 - 授業料以外の納付金等について 未済なし 未済あり (円)

<p>学校の名称</p> <p>麻布大学附属高等学校</p>	<p>学校長の氏名</p> <p>飯田 敦往</p>
<p>学校の所在地</p> <p>〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-50</p>	<p>職印</p> <p>電話番号 042-757-2403</p>

※県外私立学校の場合、当欄に代えて在学証明書(第1号様式別添)の添付も可とする。

振込先登録用紙

申請者名 (保護者等)	高校生等名
----------------	-------

振込先口座の通帳(金融機関名、金融機関コード、支店名、支店コード、預金種別、口座番号、口座名義人(フリガナ))が記載されているページのコピーを貼り付けてください

※ 通帳を発行していない場合は、キャッシュカードの写し、又はネットバンキングの画面コピーを貼り付けてください。

必要事項(金融機関名、金融機関コード、支店名、支店コード、預金種別、口座番号、口座名義人(フリガナ))が記載されているページを貼り付けてください。

ご指定いただいた口座に神奈川県私学振興課から振り込みます。
ただし、授業料以外の納付金(P T A会費、生徒会費など)に未済額がある場合は、奨学給付金を当該未済額に充てるため、在籍している学校に未済額分を神奈川県私学振興課から振り込みます。(未済がある場合は、奨学給付金を未済に充てる旨の委任状(未済用)を学校長あてに提出してください。)
※ 指定口座について…申請後、解約・名義変更の必要が生じたある場合は、速やかに神奈川県私学振興課までご連絡ください。
※未済額について…支給が決定した奨学給付金を上限とします。

<県使用欄>

□金融機関名： _____ □金融機関コード： _____

□支店名： _____ □支店コード： _____

□預金種別： _____ □口座番号： _____

□口座名義人(フリガナ)： _____

家計急変理由書

令和5年 月 日

保護者等氏名	
対象となる 高校生等氏名	
学校名	

次の理由により、保護者等全員の年収見込について、「都道府県民税・市町村民税所得割が非課税である世帯」に相当することとなったため、神奈川県高校生等奨学給付金（家計急変世帯対象給付）を申請します。

家計急変世帯対象給付に係る提出書類一式の記載内容は事実と相違ありません。

（自署 保護者等1）

（自署 保護者等2）

1 家計急変の事由発生日（令和4年1月以降）

令和	年	月	日
----	---	---	---

※ 事由発生日とは

離職であれば「離職日」、廃業であれば「廃業日」、給与所得者の収入減であれば「給与の支給日」、個人事業者の収入減であれば「売上締日」、離婚であれば「離婚届が受理された日」、その他であれば「事由が発生した日」を記載してください。

2 申請理由 該当するものに「○」をつけてください。

申請理由によって、発生事由を確認する書類（3提出書類一覧表参照）の提出が必要です。

①	(給与所得者) 解雇または減額等の場合（ただし定年退職は対象外）
②	(個人事業者) 自ら経営する会社等の倒産または業績悪化等の場合
③	保護者等の離婚（死別）等により世帯収入が減少した場合（別居等によるものは対象外）
④	保護者等の傷病等により収入が減少した場合
⑤	その他（上記以外の場合はこの欄に理由を具体的に記載してください）

※ 申請後に家計急変事由が解消され、住民税所得割非課税相当ではなくなった場合は速やかに申請書類の提出先までご連絡ください。

<裏面に続く>

3 提出書類一覧表

◎…提出必須 ○…いずれかを提出 △…該当する場合にのみ提出

	提出書類	添付書類（いずれもコピーで可）・留意事項		
1	高校生等奨学給付金受給申請書 (第1号様式)	在学証明書は、認定基準日（家計急変した翌月の1日）を記載※家計急変事由が7月1日以前の場合は7月1日		◎
2	振込先登録用紙（第2号様式）	振込口座番号が分かる通帳ページ		◎
3	家計急変理由書（様式A） この理由書に右の書類を添付	給与所得者	離職票、雇用保険受給資格者証、解雇通知書、減額通知書、診断書等	○
		個人事業者	廃業等届、破産宣告通知書、公的支援金受給証明書、診断書等	
		離婚	戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）、離婚届受理証明書	
4	家計急変前の収入を証明する書類	<保護者等全員分（父母がいる場合、父母2名分）> 令和5年度の次のいずれか（ 非課税世帯証明は不可 ） ・市民税・県民税課税証明書 ・市民税・県民税特別徴収税額通知書 ・市民税・県民税税額決定・納税通知書		◎
5	家計急変後の収入を証明する書類(様式B、勤務先作成の任意様式いずれか)（※1） この様式に右の書類を添付	給与所得者	勤務先が証明書を作成できない場合は、給与明細書、賞与支給明細書等（※2）	○
	家計急変後の収入を証明する書類(税理士または公認会計士作成の証明書、証明書がない場合は様式Cに右の書類を添付)（※1）	個人事業者	・必要経費がわかる帳簿等（※2） ・税理士、公認会計士が作成した証明書等がない場合で、所得の種類が複数ある方は様式Cの補完書類として、 (様式C 別添)を所得の種類ごとに作成し、根拠となる書類とともに提出	
6	扶養誓約書（様式D） この様式に右の書類を添付	記載した家族全員分の健康保険証（※3） (保険証等コピー貼り付け台紙に貼付)		◎
7	収入状況申立書（様式E）	無収入の期間があり、証明の手立てがない方のみ提出		△
8	委任状（権限委譲用）	振込先指定口座が保護者等や生徒本人の場合は不要		△
9	委任状（未済用）	学校納付金に未済がない場合は不要		△

（※1）家計急変月を含む連続した最低3月分以上を記載してください。

（※2）家計急変月を含む連続した最低3月分以上の給与明細書の提出（個人事業者の場合は帳簿等）が必要です。賞与の支払があった場合には、合わせて提出してください。ただし、勤務先、税理士、公認会計士が作成した証明書を提出する場合には、添付書類は不要です。

（※3）保険証等の保険者番号及び被保険者等記号・番号が読み取れないように黒く塗りつぶしてください。

給 与 (見 込) 証 明 書

年 月 日

神奈川県知事 殿

事業主(雇主)住所

事業主(雇主)名

印

次のとおり証明します。

氏 名		職務内容
-----	--	------

急変までの実績額及び急変後の見込額を記載してください。

(単位:円)

年	給与等	急変月	総支給額	交通費等非課税額
		※家計が急変した月に○		
	給与等	1月支給		
		2月支給		
		3月支給		
		4月支給		
		5月支給		
		6月支給		
		7月支給		
		8月支給		
		9月支給		
		10月支給		
		11月支給		
		12月支給		
	賞与等	月支給	実績・見込	
		月支給	実績・見込	

※ 日給(時給)の場合は、「総支給額」にその月の支給合計額を記載してください。

※ 賞与等が支給見込で金額が確定していない場合は、未記入もしくは0と記入してください。

(A) 給与等合計 (通勤手当除く)	年
(B) 給与月額平均 (通勤手当除く)	(A) の平均
(C) 年額換算	(B) ×12
(D) 賞与等合計 (通勤手当除く)	

課税標準(見込)額	(C) + (D)
-----------	-----------

※家計急変月を含む連続した最低3か月以上記載

※令和5年の世帯年収が非課税相当になることを確認しますので、令和5年1月から申請日までの記載または給与明細、帳簿等のコピーをお願いします。

注意:申請後に家計急変事由が解消され、住民税所得割非課税相当でなくなった場合は速やかに県までご連絡ください。

様式C

個人事業者用

収入（見込）申告書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者住所

氏 名

印

収入について次のとおり申告します。

急変までの実績額及び急変後の見込額を記載してください。 (単位:円)

年	急変月 ※家計が急変した月に○	収入総額	必要経費総額※	差引手取収入
		1月支給		
	2月支給			
	3月支給			
	4月支給			
	5月支給			
	6月支給			
	7月支給			
	8月支給			
	9月支給			
	10月支給			
	11月支給			
	12月支給			

※ 必要経費内訳が確認できる帳簿等のコピーを必ず提出してください。また、所得の種類が複数ある場合は、その内訳が分かるよう、「様式C 別添」についても作成・提出ください。

(A) 差引手取収入合計		課税対象助成金内訳※
(B) 差引手取収入平均	(A) の平均	
(C) 年額換算	(B) ×12	
(D) 課税対象助成金合計		

※ 課税対象助成金: 持続化給付金、家賃支援給付金、休業要請協力金、小規模事業者持続化補助金、IT導入補助金、雇用調整助成金、新型コロナウイルス感染症拡大防止関係補助金 等

課税標準(見込)額	(C) + (D)
-----------	-----------

※家計急変月を含む連続した最低3か月以上記載

※令和5年の世帯年収が非課税相当になることを確認しますので、令和5年1月から申請日までの記載または給与明細、帳簿等のコピーをお願いします。

注意: 申請後に家計急変事由が解消され、住民税所得割非課税相当でなくなった場合は速やかに県までご連絡ください。

令和 年 月 日

扶養者（申請者）住所

扶養者氏名（自署）

扶養者氏名（自署）

扶養誓約書

私が主として下記の者を扶養していることを誓約します。

対象生徒氏名	申請者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：
被扶養者氏名	扶養者との続柄：

※ 扶養している被扶養者を記入してください。

※ 扶養状況は健康保険証で確認します。2 ページ目の健康保険証等貼付台紙に健康保険証等を貼付してください。

健康保険証の写し貼付台紙



学校名 _____



世帯全員健康保険証の写しを貼付してください。

(扶養誓約書に記載したすべての者の健康保険証の写しを貼付してください)

記号(枝番)、番号、保険者番号を黒く塗り潰して提出。

○健康保険証等の塗りつぶしの方法

健康保険 被保険者証	家族(被扶養者)	令和△年△月△日交付 (枝番) 00	○○○
記号	#####	番号 1	
氏名	神奈川 花子		
生年月日	平成 ○年○月○日		
性別	女		
資格取得年月日	令和 △年△月△日		
事業所名称	株式会社○○○○○○○○○		
保険者番号	9 9 9 9 9 9 9 9		
保険者名称	○○健康保険組合 ○○支部		
保険者所在地	○○市○○町123番地		

健康保険 被保険者証	家族(被扶養者)	令和△年△月△日交付 (枝番) 00	○○○
記号	#####	番号	
氏名	神奈川 花子		
生年月日	平成 ○年○月○日		
性別	女		
資格取得年月日	令和 △年△月△日		
事業所名称	株式会社○○○○○○○○○		
保険者番号	#####		
保険者名称	○○健康保険組合 ○○支部		
保険者所在地	○○市○○町123番地		

- ・ 図のように記号、番号(枝番)、保険者番号を黒く塗り潰してください。

様式 E

神奈川県高校生等奨学給付金の申請に係る収入状況申立書

令和 年 月 日

神奈川県知事 殿

神奈川県高校生等奨学給付金を申請するにあたり、無収入の期間について、次のとおり申立します。

1 無収入の期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

住民税の対象となる給与所得・事業所得・株式配当所得・不動産所得等その他のすべての所得に関し、上記期間について一切ないことを申し添えます。

2 この申立書の記載内容は、事実と相違ありません。また、この申立書に虚偽の記載があった場合には、知事の求めに従いその全額を即時返還します。

申請者氏名 _____